

陽だまり通信

季刊誌
Vol.

64

2019年1月25日発行

特集

① あまのコミュニティーケアプラザ LaLa
オープン間近

② ハートフル働き方改革

新年のご挨拶 天野理事長

JRAT (大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会) の活動

サークル紹介「ソフトボール部」



<http://www.amano-reha.com/>

新年のご挨拶

「変革と創造」そして「融合」

医療法人ハートフル 理事長 天野 純子



新春のお慶び申し上げます。
昨年は本当にいろいろな事が
ありました。西日本豪雨災害が起
こった事も大きな出来事でした。
被害に遭われた方々には心より
お見舞い申し上げます。

この度の災害では当法人に事
務局を置くJ R A T (日本大規模
災害リハビリテーション支援関
連団体協議会)の地域組織である
「広島J R A T」が初めて公式に
活動しました。

J R A Tの活動は医師、理学療
法士、作業療法士、言語聴覚士な
どの多職種のチームで避難所を
巡回し、例えば、高齢の方が動き
やすいように環境を調整したり、
ダンボールベッドを搬入したり、
立ち上がりやすいようにベッド

の高さを調節する等、様々な活動
をします。被災地では、エコノ
ミー症候群で亡くなった方もい
らっしゃいますが、エコノミー症
候群は深部静脈血栓症が原因に
なります。深部静脈血栓症は動か
なくなることで発症するので避
難所で活動しやすい環境を作る
事はエコノミー症候群の予防に
もなります。地域の保健師さんや
J M A T (日本医師会災害医療
チーム)、日本赤十字社救護班の
先生方と避難をしておられる
人々の健康を守るためにJ R A
Tはリハビリテーションで貢献
しています。今後も私達はこの活
動を続けていきます。

さて、本年のテーマとして、
「変革と創造」そして「融合」を掲

げたいと思います。「変革と創造」
は、昨年、栄養管理の学会で出
会った京都大学医学部附属病院
臓器移植医療部 准教授 海道 利
実先生から教わった言葉です。海
道先生は大変楽しい先生で、著書
もたくさん出されています。患者
さんの利益(ペイシエント ベネ
フィット)を一番に考え、日々楽
しく、有意義に仕事をするために
はどうあればよいか、常にそれを
考え実践することが大事である
と言われています。そうするため
にはより良く変えていく「変革」
そして新しいシステムや方法を
「創造」することが必要である、
と。このことが当たり前にできる
法人になりたいと心から思いま
す。そして、現在の法人はアマノ

リハビリテーション病院・廿日
市在宅総合ケアセンターあまの、
に分かれています。今年は、場所
は別れていても「ひとつの法人」
としての考えを職員ひとりひと
りに持つてもらいたいと思いま
す。「ひとつの法人」として一丸と
なって患者さんと利用者さんの
利益を考えるようにしていきたい
と思います。

本年も宜しくお願い申し上げ
ます。



『もし、自分の住み慣れた地域で災害が発生したら…』

（災害リハビリテーションについて）

アマンリハビリテーション病院リハビリテーション部 副部長 川村美紀子

生活は激変します…。

2018年7月6日、広島に大雨が襲い、多数の犠牲者、被災者を被ることとなった西日本豪雨災害。被災者の中には、避難所生活を余儀なくされ、命からがら逃げた疲労感、家族や友人を亡くした衝撃で精神的に辛い思いをしている人、身体機能があつという間に衰えていく人がいます。特に災害弱者と呼ばれる高齢者、障がい者、子ども、妊婦は、健康な人と比較し、低下のスピードが速く、早期からの援助が必要となります。



「JRATをご存じでしょうか？」

JRATとは、日本大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会（Japan Rehabilitation Assistance

Team）のことで、東日本大震災を

機に、リハビリ関連13団体から発足されました。JRATは平時から各団体が連携し、各地域において地域住民と共に災害を乗り越え、生活を再建できるように支援していきます。また、災害後も安心、安全且つ、良質なリハビリ支援を受けられる制度や体制の確立を促進することも目的として活動しています。JRATの事務局は東京にあります

が、各都道府県単位で活動し、現在、34県が組織化されています。そして、広島においても平成28年12月8日に広島JRATが発足され、代表を当法人理事長天野純子が務めさせていただきます。

ました。

The Japan Rehabilitation Assistance Team

活動内容

1. 災害リハビリテーション支援チームの育成・組織化
2. 都道府県を単位とする全国規模のネットワークの構築
3. 災害リハビリテーションに関する教育・啓発のための研修および広報
4. 災害支援必要機材の準備
5. 他の災害救助チームとの連携
6. 発災時、組織的かつ直接的な災害リハビリテーション支援
7. その他、目的を達成することに関連した活動

JRAT JAPAN REHABILITATION Assistance Team



「実際の広島JRATの活動」

広島JRATは、熊本地震、西日本豪雨災害で支援を行いました。

JRATのチームは、医師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士で構成され、広島県内の病院、施設から人員を募集します。実際に避難所を訪問し、保健師、行政との情報共有、避難所の手すり、段ボールベッド、杖などの福祉用具の必要性の判断、生活不活発病（動かない、動けなくなる）の予防体操指導、避難所生活時間の調整（自宅、又は仮設住宅に向けた能動的活動）を避難所生活から導入する）等を行いました。災害リハビリの最終目標は被災者の生活再建ですが、JRATは長期的に支援をするのではなく、被災した地域のリハビリ資源へつなげることができた時点で、支援終了となります。



避難所で歩行練習



避難所の共同ポータブルトイレに肘掛けをつけ立ち上がりしやすい環境をつくる



避難所で出入口に手すりを設置し避難者の転倒を予防する

「災害が発生した時にリハビリ？」「災害の時にリハビリなんて考えられない？」という声が聞こえてきそうですが…。減災のためには、災害後の早期リハビリ介入が必要です。また、災害が起こってから活動を始めるのは遅いのです。平時から、災害に対する心構え、防災対策、そして自分の地域はどこに避難したらよいか、どのような人が住んでいるのか、何よりも減災のためには平時からの地域とのつながりが大切なのです。



温かみがあり、子どもたちが楽しく発表会ができるスペースができました。入園式や卒園式も期待が膨らみます。

遊戯ホール



子どもたちが気持ち良く過ごせる温かみのある空間が広がってます。園庭もあり、生活や遊びを通じて子どもたちが健やかに成長できる環境を提供します。

あまの保育園



エントランスホール



体調不良などで集団保育が困難な子どもが利用できる専用のスペースです。定員4名、職員の未就学の子どもが利用できます。

病後児保育室



保育・福祉の複合施設 Lala(リラ)を開設します

当法人では、廿日市地域の医療・福祉・在宅ケアを充実させるため、医療サービス、介護サービス、障がい者支援サービスなど様々な事業を展開しています。

これら事業の一層の充実を図るため、保育・福祉の複合施設（3階建て）を平成31年4月に開設することとなりました。

この建物の名称は「あまのコミュニティーケアプラザ「lala(リラ)」です。「lala(リラ)」は施設を利用している方々や職員の笑顔があふれ、楽しくララ♪と歌を歌いたくなるような雰囲気表現して命名しました。

1階

あまの保育園（企業主導型保育事業）

「生き生きと遊び 心身ともに健康な子ども」

「感謝の気持ち 思いやりのある子ども」

「自然に親しみ 感性豊かな子ども」

を保育目標とし、当法人職員の子どもを対象とした保育園の運営を行います。職員が安心して子育てと仕事に専念ができる環境整備のひとつとして、現在のあまの保育園の定員25名を70名に増員し、リニューアルします。

また、給食の提供を開始し、病後児保育にも取り組みます。将来、保育士等の充実を図るとともに、若干名ですが地元市民のお子様も保育できるよう計画します。



音響設備なども完備しており、講演会や地域との文化活動の場として交流ができるカルチャースペースとなっています。



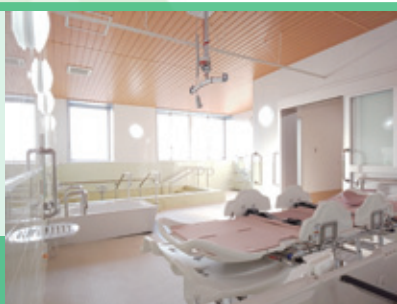
♪ コミュニティーホール

自然の光が差し込む開放感溢れる空間でレクリエーションや歩行訓練等気持ちよく行えます。



♪ ゆうゆうあまの

個浴・大浴槽・特浴などを完備しており、様々な入浴サービスの提供を行います。



♪ ゆうゆうあまの 浴室

障がいがある方が安心して過ごせるよう広々としたバリアフリーな空間となっています。



♪ ハートフルあまの



2階 障がい児・者支援事業
ハートフルあまの（生活介護事業所）
オレンジ（放課後等デイサービス）
※平成31年4月開設予定
スマイリー（重症心身障害児 放課後等デイサービス）
あおぞら（相談支援事業所）
もみじ（広島西障がい者就業・生活支援センター）
障がいがあっても、住み慣れた地域で安心して心豊かに暮らしていただけるよう、自立した日常生活や社会生活を営むための支援を行います。子どもから高齢者まで、障がいのある方々への切れ目のない充実した支援をめざしています。

3階 ゆうゆうあまの（デイサービスセンター）
高齢者の方々を送迎し、健康チェックや入浴・食事など日常生活上のケアを提供します。
また、楽しみや生きがいにつながるよう、様々な創作活動や演奏会・コーラス・カラオケなどのレクリエーションを行うとともに個別・集団での機能訓練を行うなど心身機能の維持・向上を図り、その人らしい生活を支援いたします。

3階にはコミュニティホールを設置
当法人の理念である「地域のために 地域とともに」の実現に向けて、地域の方にも利用して頂けるよう100名が収容できる多目的スペースを設置しました。
コミュニティホールでは市民の方を対象とした講演会や勉強会などの開催も計画しています。



あまのコミュニティケアプラザ ララ
AmAno Community Care Plaza

〒738-0033 広島県廿日市市串戸5丁目3番45号
宮内串戸駅から徒歩10分

ハートフル働き方改革 今までの歩みとこれからの展開

多様な働き方改革プロジェクトチームチームリーダー
障がい者支援部部長 立花 英美

一職員からの相談がきっかけに

定期的に集まって話し合いを続けてきました。

「助かる」と喜んでもらえる支援策を

まず、最初に行ったのは、職員が仕事を続けるうえで感じている不安や悩み、要望などを把握するためのアンケート調査です。結果は、子育てに関することが圧倒的に多く、続いて介護や通院といったやむを得ない事情で仕事に支障が出ることを懸念する声も多くありました。さつそくそれらへの支援策を考えていく一方で、そのために職場が円滑に回らなくなってしまう意味がないので、メンバーは職場長などいろいろな立場からの意見にも耳を傾けながら、今この法人に必要な、あるいは改善すべき制度や仕組みについて意見を出し合いました。たくさんの方にもぶつかりました。

一昨年の10月、法人内に「多様な働き方改革プロジェクト」が発足しました。国の「一億総活躍社会の実現」という大きな目標に連動して…とカッコよく言いたいところですが、実は私たちの取り組みは日常の身近なところで起きたことがきっかけで始まりました。それは、たまたま私が一人の職員から受けた「不規則な通院のため職場に迷惑をかけるので、退職したほうがよいのではないかと迷っている」という相談でした。理由は「何であれ大切な人材を失うことは法人にとっては宝の損失。もちろん本人も、やりがいを感じていた仕事を辞めることは不本意に違いありません。その時の「不安や悩みを抱えながら働いている職員はほかにもいるはず。職員みんなが健康面や家庭の事情などによる働きづらさを感じ、安心して働き続けることができればもういい法人になる！」という思いがこのプロジェクトの誕生へとつながりました。各部署から集まったメンバーとは、いわゆる一般論的な改革ではなく、この法人で働いている職員のための改革をめざそう」と気持ちを一つにし、毎月

定期的な集まりで話し合いを続けてきました。



しながら段階的に進めていくことで、少しずつでも「喜ぶ職員」を増やしていこう」と取り組みを継続してきました。昨年6月、私たちは第一弾として4つの提案を理事会に挙げ、実施する方向で承認をいただきましたので、次のページでご紹介します。

職員も家族も幸せになる働き方を求めて

なお、これまでの法人の取り組みに対し、広島県や広島商工会議所から「働き方改革実践企業」「仕事と家庭の両立支援企業」「男性育児休暇等促進宣言企業」等の認証をいただきました。とは言っても、まだまだ道半ば。これらの認証は「これからもがんばれ！」という法人へのエールだと受け止め、今後の励みにしていきたいと思っています。

健康であることはもちろん、家族との幸せな生活が基盤にあつてこそ仕事にも安心して打ち込むことができ、人生も豊かになります。これからも、すべての職員がその個性と能力を最大限に発揮し、ここでずっと働きたいと心から願う…そんな法人であり続けられることを目標に引き続き取り組んでいきたいと思っています。



左：チームリーダー 障がい者支援部 部長 立花英美
右：アマノリハビリテーション病院 事務部 部長 宮本一男



現在 進行中のプロジェクトをご紹介します

時間単位有給休暇

平成30年10月～
実施中

1時間単位での有給休暇の取得が可能になりました！ 子どもの授業参観や通院など、実際には数時間でよいのに半日有給休暇を取得するのは合理的でなく、アンケートでも1時間単位での取得を望む職員の声が多く聞かれました。ワークライフバランスの実現をめざし、有給休暇を有効活用してより働きやすい職場づくりを促すため、プロジェクトチームで協議を重ねました。その結果、各部署内での調整やシステムの見直し、就業規則の改定などを経て実施に至りました。すでに利用実績もあり、有給休暇の取得促進につながっています。たくさんの職員の皆さんから「ありがとう」とお声かけいただいています。

プロジェクト担当

アマノリハビリテーション病院 医事課 副主任
中島 妃登美
アマノリハビリテーション病院 事務部 経理課
村上 泰孝

育児短時間勤務

最終調整中

就学前の子どものいる職員の多くは保育園を利用しながら仕事と育児の両立に努めており、子どもが3歳未満の場合は育児短時間勤務（実働6時間）も認められています。ところが子どもが小学校にあがるのを機にその環境は一変します。入学前の3月は保護者が出席しなければならない行事も多く、さらに入学後しばらくは親も子ども生活のペースが大きく変わる時期です。プロジェクトチームでは、小学校入学前後の生活環境の激変、いわゆる「小1の壁」を親子で共に乗り越え順調な小学校生活を送ることができるよう、小学校入学前の3月から小学校1年生の8月までの半年間にも育児短時間勤務が取得できるよう検討をしています。

プロジェクト担当

在宅支援部 訪問リハビリテーション課 課長
江藤 恵
障がい者支援部 ハートフルあまの 副主任
都間 真由子

学童保育

最終調整中

今日は仕事、でも台風で子どもの学校は臨時休校…仕事は休めない、子どもも心配…そんな時の職員の不安を少しでも払拭したい！ と考えたのが、法人内での学童保育の開設です。アンケート調査では、子育て中の職員の約6割が利用したい、ぜひ開設してほしいと答えており、ニーズの高さを知ることができました。開設に向けての課題は、場所やスタッフ、対象児童の学年、利用時の連絡方法などたくさんありますが、職員の働きやすい環境整備の一環として、子どもの学校が臨時休校になっても、安心して法人内の学童保育が利用できるよう、開設をめざしてしっかり準備をしていきたいと考えています。

プロジェクト担当

アマノリハビリテーション病院 事務部 経理課
村上 泰孝
アマノリハビリテーション病院 放射線課 主任
外川 雅士

特別休暇

最終調整中

様々な事情を抱えた職員が過度の負担なく仕事を継続できたり、永年勤続の節目に通常は取りにくい連続した休暇を取ってリフレッシュしたりすることは、長く仕事を続けていくために必要なことだと考えています。そこで、次のような、仕事への意欲につながる休暇の拡充を検討しています。

①特別休暇に追加

不妊やがんなどの特別な治療 家族の入院時の付添いなどを新たに特別休暇の対象に加える。

②リフレッシュ休暇の新設

勤続10年、20年、30年…の節目に、心身のリフレッシュを目的とし、連続した休暇が取得できるようにする。

プロジェクト担当

アマノリハビリテーション病院 看護部 3階病棟西 師長
梅田 真由美
アマノリハビリテーション病院 リハビリ部 療養外来課 課長
山本 恵子

育児休暇を取った男性職員に聞いてみました



アマノリハビリテーション病院
リハビリ部 回復期課 主任
上田 翔

先日、県から、以前取得した育児休暇についての取材を受け、その頃を振り返る中で改めて取得してよかったと思いました。法人内の男性第一号ということで職場復帰をした際には、後輩の男性職員が次々に私のところへ相談に。男性育児休暇のバイオニア的な存在になっていたようです。

妻は妊娠中、切迫流産・早産で心配な時もありましたが、お腹の子どもが日々大きくなり、この世に存在していることを実感し始めた頃、育児休暇を取ろうと決意しました。長男の時は1週間、次男の時は1か月取得しました。

休暇中は時間が止まったかのようにゆっくりとした時間を過ごすことができました。しんどいこともたくさんありましたが、母親の大変さを共有でき、またそれ以上に父親としての自覚と愛情が増した、とても充実した「育自休暇」でした。



左記の詳細な内容は、広島県が作成した「広島イクメンスタイル」の男性育休取組事例集で紹介されています

ソフトボール部

アマノリハビリテーション病院 リハビリテーション部 作業療法士
ソフトボール部 部長 野村 一貴

10月にクラブ認可がおりて、部員の人数は20名です。第2、4月曜の19時から21時まで練習し、主に近隣施設との合同練習試合を行っております。

先日当法人主催で、7施設・6チームの総勢80名で大会を行いました。アマノは決勝で2-4で敗れ残念ながら準優勝でしたが、敗れた相手は医師会主催のソフトボール大会で過去優勝した事がある程の実力チームでした。次回の大会では10施設が参加を予定しており、今後も拡大していく予定です。優勝をしっかりと狙っていこうと思いますので、興味のある方の参加をお待ちしております。



アマノリハビリテーション病院

診 療		月	火	水	木	金	土
午 前 9時～12時	1 診	中島 康 内科・循環器科	菊地 由花 リハビリテーション科	山根 浩介 内科・放射線科	松下 宏子 内科・循環器科	山根 浩介 内科・放射線科	川上 恭司 循環器科
	2 診	狭田 純 リハビリ・神経科	—	狭田 純 リハビリ・神経科	狭田 純 リハビリ・神経科	大森 信忠 心療内科	狭田 純(第2.4のみ) リハビリ・神経科

あまのクリニック

診 療		月	火	水	木	金	土
午 前 9時～13時	1 診	—	—	—	—	狭田 純 リハビリ・神経科	—
	2 診	榎津 優 心療内科	福田 裕恭 内科・心療内科	柏木紀代子 心療内科	福田 裕恭 内科・心療内科	福田 裕恭 内科・心療内科	福田 裕恭 内科・心療内科
	小 児	福田 純男 小児科	—	福田 純男 小児科	福田 純男 小児科	福田 純男 小児科	福田 純男 小児科
午 後 14時～17時	1 診	—	—	—	—	—	—
	2 診	福田 裕恭 内科・心療内科	—	—	福田 裕恭 内科・心療内科	—	福田 裕恭 内科・心療内科
	小 児	福田 純男 小児科	—	福田 純男 小児科	—	福田 純男 小児科	—

※急患はこの限りではありません。お気軽にお問い合わせのうえ、受診してください。 ※都合により、外来担当医が変更になる場合もございます。ご了承ください。

医療法人 ハートフル <http://www.amano-reha.com>

アマノリハビリテーション病院

廿日市市陽光台5-9
TEL.0829-37-0800

診療科目 内科・リハビリテーション科・神経科・心療内科・循環器科・皮膚科・小児科
診療時間 午前9時～12時
休診日 日曜・祝日

廿日市在宅総合ケアセンターあまの

廿日市市串戸5-1-37

在宅医療支援室
地域連携室

TEL.0829-31-5122
TEL.0829-31-5226

あまのクリニック ■通所リハビリテーション ■重度認知症患者デイケア

廿日市市串戸5-1-37 TEL.0829-31-5151代

診療科目 心療内科・内科・循環器科・リハビリテーション科・小児科
診療時間 午前9時～13時(受付は12時まで) 午後2時～5時
休診日 水曜(午後)・金曜(午後)・日曜・祝日

アマノ居宅介護支援事業所

廿日市市串戸5-1-37 TEL.0829-31-5213
電話対応可能時間 月曜～土曜 午前8時30分～午後5時30分

訪問看護ステーションハートフルステーション あまの

廿日市市串戸5-1-37 TEL.0829-31-5212
電話対応可能時間 月曜～土曜 午前8時30分～午後5時30分

高齢者デイサービスセンター ゆうゆうあまの

廿日市市新宮1-13-1 廿日市市総合健康福祉センター あいプラザ内3F
TEL.0829-20-1620
電話対応可能時間 月曜～土曜可能 午前8時30分～午後5時30分

広島西障がい者就業・生活支援センター もみじ

廿日市市串戸5-1-37 あまのクリニック内5F
TEL.0829-34-4717 FAX.0829-34-4718
電話対応可能時間 月曜～金曜
午前8時30分～午後5時30分

相談支援事業所 あおぞら

廿日市市串戸5-1-37 あまのクリニック内5F
TEL.0829-34-4710
電話対応可能時間 月曜～金曜
午前8時30分～午後5時30分

生活介護事業所 ハートフルあまの

廿日市市新宮1-13-1
廿日市市総合健康福祉センター あいプラザ内3F
TEL.0829-20-1624
電話対応可能時間 月曜～金曜
午前8時30分～午後5時30分

放課後等デイサービス スマイルー

廿日市市新宮1-13-1
廿日市市総合健康福祉センター あいプラザ内3F
TEL.0829-20-1625
電話対応可能時間 金曜・土曜 午前9時～午後3時

児童発達支援センター おひさま

廿日市市陽光台3-1-3 TEL.0829-37-1166
電話対応可能時間 土曜・日曜・祝日除く
午前8時30分～午後5時30分

介護付有料老人ホーム 望海の里

廿日市市宮島口東2-13-15 TEL.0829-56-4580

介護付有料老人ホーム カーサ ミーア

廿日市市陽光台3-1-3 TEL.0829-37-1133

あまの訪問看護ステーション

岩国市牛野谷町3-49-53
TEL.0827-32-6265

● 電話対応可能時間 月曜日～土曜日、祝日
● 午前9時～午後6時 ※緊急時は24時間対応

発行:医療法人 ハートフル 企画・編集:広報委員会 発行日:2019年1月25日 季刊誌